

倶多楽の火山活動解説資料（平成26年5月）

札幌管区気象台
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
平成19年12月1日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

- ・ 噴気などの表面現象の状況（図1 - 、図2）

日和山山頂爆裂火口の噴気の高さは火口縁上概ね50m以下で、噴気活動は低調に経過しました。

- ・ 地震及び微動の発生状況（図1 - ）

火山性地震及び火山性微動は観測されませんでした。

- ・ 地殻変動の状況（図1 - 、図3）

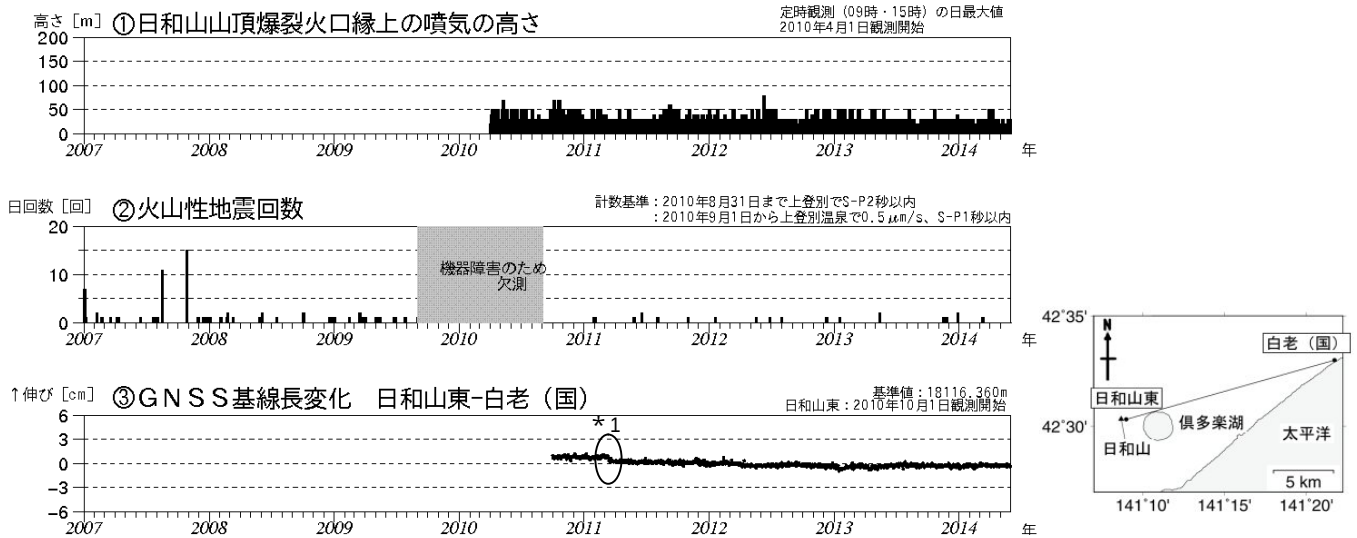
GNSS連続観測及び繰り返し観測¹⁾では、火山活動によると考えられる地殻変動は認められませんでした。

1) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。

この火山活動解説資料は札幌管区気象台のホームページ(<http://www.jma-net.go.jp/sapporo/>)や気象庁のホームページ(<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>)でも閲覧することができます。

この資料は気象庁のほか、国土地理院及び北海道大学のデータも利用して作成しています。
資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号 平23情使、第467号）。

次回の火山活動解説資料（平成26年6月分）は平成26年7月8日に発表する予定です。



- ・ のGNSS基線は配置図の基線に対応しています
- ・ (国)：国土地理院
- * 1: 楕円内の変動は、2011年 3 月11日に発生した東北地方太平洋沖地震の影響によるものであり、火山活動によるものではありません



図 2 倶多楽 南南西側から見た日 and山、大湯沼及び地獄谷周辺の状況（5 月23日、414m山遠望カメラによる）

